

全国和牛能力共進会に日野郡から「いととはな」号が出品



大型デントの審査会場



審査を受ける鳥取県チーム

全国和牛能力共進会とは

全国和牛能力共進会(以下「全共」)は5年に1度開催されることから和牛のオリンピックともいわれ、全国の予選を勝ち抜いた和牛が一堂に会して体型や肉質を競う大会です。

今年の第12回大会は10月6日から10日までの5日間、鹿児島県霧島市牧園町で開催され、鳥取県からは全区で21頭の代表牛が出品されました。

日野郡から「いととはな」号が出品される

6区の総合評価群に日野郡日南町の山形美智也氏所有の「いととはな」号が出品されました。この部門は全9部門の中の1部門で、体型と肉質の両方を競う唯一の部門であることから花の6区ともいわれています。(表)

山形氏が飼養する繁殖雌牛に、鳥取県畜産試験場が飼養する種雄牛「元花江」(もとはなえ)を交配して生まれたのが「いととはな」号です。子牛のころから体型及び発育が良好であったことから全共出場を目指して育成し、県の最終予選を勝ち抜き、種牛区(体型を審査する区)の代表牛として選抜されました。

「いととはな」号が出品された種牛区は7位と健闘しましたが、肉牛区が11位と振

るわず、結果は総合10位と満足のいくものではありませんでした。

表 全共の出品区分

区分	対象	出品単位	審査基準
1区	若雄	1頭	体型
2区	若雌の1	1頭	
3区	若雌の2	1頭	
4区	繁殖雌牛群	血縁関係のある3頭	
5区	高等登録群	母、子、孫の3頭	肉質
6区	総合評価群	種牛区 雌4頭 肉牛区 去勢3頭	
7区	脂肪の質評価群	3頭で1組	体型
8区	去勢肥育牛	1頭	
特別区	高校及び農業大学校	1頭	

次回北海道全共に向けて

今回、出品にあたっては美智也氏の長男の俊樹氏がハンドラーとして出場されました。俊樹氏は平成19年に地元鳥取県で開催された全共に当時在籍していた農業大学校からの出場を目指して



「いととはな」号と山形俊樹氏

ましたが、惜しくも県最終予選で敗退し出品することができませんでした。今回はその時の悔しさをバネに県の1次予選会、最終予選会に向けて「いととはな」号の調教・運動・手入れに励み、ついに県代表を勝ち取りました。今回、上位入賞とはなりませんでしたが、俊樹氏は「通常の飼養管理とは異なる出品牛の管理や調教技術に触れ、貴重な経験をすることができた」と技術と経験の蓄積を実感されています。

今回の全共は令和9年に北海道で開催されますが、今回の経験を活かしてさらに上位を狙ってみたいと思います。

道路の除雪作業が始まります

雪の季節がやってきました。今年も万全の体制で道路の交通確保に努めてまいります。

日野郡は鳥取県の中でも雪の多い地域であり、大雪となると道路交通だけでなく、県民の生活にも多大な影響が及ぶことがあります。安全安心な冬を過ごすためには、皆様の協力が必要です。

道路の除雪作業を円滑に行うため、次のことについて、皆様の御理解と御協力をお願いします。

- 路上駐車は除雪作業の妨げとなりますので絶対にしないでください。
- 深夜・早朝の作業にご理解をお願いします。
- 家の前の雪かきは各自でお願いします。
- 車道に雪を出さないでください。
- 道路に張り出した枝や倒木等は、所有者で除去するようお願いいたします。



日野郡除雪オペレーター育成研修会・日野郡除雪業務団結式を開催しました

除雪シーズンを前に、除雪車オペレーターが除雪車両の特性や操作の注意点などを学ぶ研修会が日野振興センターで開催されました。研修会は鳥取県日野建設業協会が主催し、会員企業の従業員など9名が参加しました。研修会後は、日野町にある鳥取県の本郷車両基地において、除雪業者、役員関係者、日野振興センター関係者で、除雪業務団結式を開催しました。

団結式では、日野振興センター板本所長の激励の挨拶のあと、除雪業者代表であるサワタ建設株式会社の木下創介さんから「除雪は地域の皆様の日常生活に必要不可欠なもの。地域の皆様のためにしっかりと除雪を行います。」という力強い決意表明が行われ、参加者一同は、来たる除雪業務に向けて気勢を上げました。



除雪車オペレーターの方に、除雪の仕事についてお話を聞いてみました



有限会社福岡組 西村 耕基 さん

除雪車オペレーターの仕事を30年以上にわたります。これまで、日南町で、主要地方道新見多里線、一般県道猪ノ子原上石見停車場線、町道等の除雪をしてきました。

雪のシーズンは毎日、天気予報とにらめっこです。雪が多い日には、午前3時に開始する早朝除雪に始まり、午前午後と1日3回除雪をします。

作業にあたっては、家の前に極力雪を残さないように注意しながら、除雪ドレーザで慎重に雪を寄せていきます。道路の両側に家屋がある箇所もあるので、きれいに仕上げるためには、2〜3往復しなければなりません。時間がかかっても、その分丁寧に除雪するよう心掛けています。

担当している路線が、地元の生活道路になつているので、地元の方から感謝してもらえることが、仕事のやりがいであり、励みにもなっています。オペレーターの仕事は吹雪の中、長時間の作業となることもありますが、体が元気なうちは仕事を続けたいと思っています。